

第2章 東洋医学としての鍼灸

—大崎一葉氏インタビュー（2006年6月9日）のトランスクリプト—

日時 : 2006年6月9日午後

場所 : しのはら鍼灸院

トランスクリプト作成 : 斎藤 雅彦

001G : あ、えっと今日はよろしくお願ひ[します。

002D : [よろしくお願ひします。

003G : で、えっとまず最初に、

004D : はい。

005G : えっと、鍼灸治療の考え方についてお聞きしたいと思います。

006D : はい。

007G : でまず、ちょっと、いきなり漠然な質問でちょっと [申し訳ないんですけど、

008D : [はい。

009G : 鍼灸とはどのようなものでしょうか。

010D : うーん。あの、鍼灸治療っていうのは、あの一言で鍼灸といっても、凄く色んなやり方があるんです。であの西洋医学的な考え方もあり [ますし、 =

011G : [はい。

012D : =あの東洋医学的な考え方もあります [し、 =

013G : [はい。

014D : =その流派、古典的な、うちはあの古典的な東洋医学の治療をしてるんですけど、

015G : はい。

016D : あの、西洋医学的っていうのは、こう筋肉とか、そういうのにアプローチしてやっていくやり方で、こう、パルス、電気ぴゅっぴゅっって使ったり、

017G : うんうん。

018D : するのが西洋医学的な。うちはあの東洋医学的な考え方で、うーん。

東洋医学的な考え方でも色んな流派があるんです。

019G : はい。

020D : 鍼を受けられたことはありますか。 [ない。 ないですか。 =

021G : [自分ないです。

022D : =若い人はあまりいないですよ。だから TV とかでね、あの、よくこうブスってして、ギャーって言っているような、 [あんな鍼もあるんですけど、 =

023G : [はい。

024D : =あの一、うちの治療っていうのは、あの赤ちゃんとかおじいちゃん、おばあちゃんも来られるぐらい、こう、刺す、鍼を打つっていってもね、もう 0.何ミリ

- の世界で、あんなにブスブス刺したりはしない、
- 025G : はあー。
- 026D : だからあの、また治療、うん。[huh=
- 027G : [huh
- 028D : =あの、なんだろ、なんだろ鍼灸治療、うちの治療は、あの、バランスを整えていく、[体の持っている、こう、治癒力を高めていく治療なんです。=
- 029G : [はい。
- 030D : =だからあの、木でもね、葉っぱがこう、例えば、あー肩がこるっていう肩こりですって言って、その木に例えたら、木の、こう、葉っぱがちょっとなんていうか、枯れてきているとかそういう状態なんです。体の一部分。
- 031G : [はい。
- 032D : [そしたら、その治療によっては、その枯れている葉っぱをじゃあ取り除きましょうっていう、痛みを取り除きましょうっていう治療もあるんですけど、あの、古典治療、経絡治療って [言うんですけど、=
- 033G : [はい。
- 034D : =経絡治療はその痛んでる葉っぱももちろん取り除いたり、手当てしたりするんですけど、そしたら、じゃあなんでその葉っぱは枯れたのかな、病気になったのかなっていう、そっちのほうを大事にするんですね、そしたら葉っぱに症状は出てるけど、目に見えない所の木の幹の部分や根っこの部分に何か原因があるはずやって、その葉っぱの治療ももちろんするけど、目に見えない所の根っこや木の部分の、をもっと根本的に治していきましょうっていう、バランスをとっていきましょうっていう治療なんですね。
- 035G : あー、[ありがとうございます。
- 036D : [うーん。はい。
- 037G : はい。じゃあ、えっと、次の質問、
- 038D : うん。
- 039G : ですが、えっと、実際にその鍼灸の、
- 040D : うん。
- 041G : 治療するとき [とかは、=
- 042D : [はい。
- 043G : =どういう治療法があるのでしょうか。
- 044D : それもね、その、その流派によって全然違うんですけど、
- 045G : はい。
- 046D : うちの、あの脈をみたり、えっとこの望診って言って、ぱっと見て、その体の体質っていうのを顔からも情報が得られますんで、で、あの顔の、目とか口とか鼻とか特徴を見て、大体こういうタイプの人やな、でその同じタイプの人での皮

膚の艶とか色とか目の色とか色々見て、あの今日はこういう状態だなんていうのを、　　まずお会いした時に、うん、後歩き方とか。

047G : はあー。

048D : んで、その後に、こう脈をみるんですね、脈っていうのも、こう西洋医学的なこう、
　　血圧をみるわけではなくて、こう、

049K : お仕事があればどうぞお仕事のほうを優先してください。

050D : はい？

051K : あの、お仕事のほうを優先 [で。

052D : [あ、いいですか。

053K : 大丈夫です。

054S : 10 分ぐらいあったら、

055K : はい。

056S : いけるけん、どうしようか？

057K : 次ご予約があるわけですよね？

058S : うん、えっとね。今ちょっと鍼打っておいとるけんね、10 分ぐらいあったらお話しできるんで、

059K : あ、そうですか。うちのあの、

060S : はい。

061K : 谷井が伺いますんでよろしく申し上げます。続けてお願いします。

062D : 顔みてね、望診っていうんと、脈、脈をみて、あの、脈診って言うんですけどね、あの、その、血圧がどうか、心臓がどうっていうんじゃないで、この体の中のバランスのどこが、こうバランスがおかしくなっているかっていうのを脈でね、こう指 6 本使って 12 箇所脈をみます。

063G : [はあ。

064D : [とお腹、お腹とかにも内臓の反応が出て来るんで、あ、この人はここが冷えてるとか、ストレスを受けてるとか、ちょっと悩み事があって、こう鬱々してるとかね、　　そういうのも全部 [体に出るんです。

065G : [はあ。そういう精神的なこともわかるんですか？

066D : わかります。[ふーん。

067G : [はあ。すごい。

068D : [あ、その鍼がみんなっていうわけじゃないですよ、＝

069G : [ありがと (途切れる)

070D : =経絡治療は、[の場合。

071G : [あ、はい。ありがとうございました。

072D : はい。

073G : えっと、じゃあ次、先ほど、えっと流派とか、

074D : はい。

075G : 違いがあるって言ったんですけど、

076D : はい。

077G : 他にも地域との違いとかもあるんでしょうか？

078D : あー、ありますねー。あのー大阪とかはね、わりあいあの、かーって堪える鍼、
効く効くってような鍼じゃないと受けた気がせん、みたいな人が多いんです。

079G : それ、それは痛いってということですか？

080D : そ、痛い、あの、鍼をね、基本的に痛い鍼っていうのはね下手な人なんです。

081G : そ、そうですよね。

082D : うん。注射でもね、こう痛い人と痛くない人と、

083G : はいはい。

084D : あれは腕の違いなんで、鍼は痛いもんやっていうのはね、その人の努力が足らへん
っていう。だからあの、なんていうんですかね。まーそういう、地域、鍼にね効く
っていう痛みと違って、鍼にひびきっていうのが [あるんですけど、

085G : [あー、あー、あー。

086D : うん。 [そういうのも、

087G : [ちょっと勉強したんで、

088D : あ、ほんま [ですか。

089G : [ひびきは。

090D : うーん。鍼のひびきはね、こうきつーく響かせる手技もできるんです。 =

091G : [あー、そうなんですか。

092D : = [わざとね。 うん。 で、きつく響かせたほうが好きっていう人が、 =

093G : [あー。

094D : = [割りと大阪のほうで、徳島はね、あんまり昔からは無いんですね。四国でした
らね、今治が盛ん。 =

095G : [あー。

096D : = [今治、 [あの愛媛が盛ん。

097G : [あー、はい。

098D : あの、風邪ひいたらね、お医者さん行かずに、鍼灸院に行くっていうぐらいこう。

099G : あー [凄いな盛んなんですね。

100D : [うん。 盛んですね。 うん。

101G : はい。 [じゃあ、ありがとうございます。 で、えっと、えっと先ほど =

102D : [うん。

103G : = [鍼灸にも西洋的な =

104D : [うん。

105D : = [ものとか、 =

- 106D : [はいはいはい。
- 107G : = 東洋的なものとかあるっておっしゃいましたけど、それも西洋医学、
- 108D : [はい。
- 109G : [ってあるじゃないですか? =
- 110D : [はい。
- 111G : = [それと鍼灸との違いは=
- 112D : [うん。
- 113G : = [どのようなものだと思いますか?
- 114D : うーん、あのね、鍼灸師でもこう、西洋医学と鍼灸ってこう根本的な所が違うんで、それをこう西洋医学的に説明しようとする鍼灸師もいるし、もう西洋医学とは全く別の物として考える先生もいるんですけど、例えば、こう西洋医学では、体が患者さんの、こう体調が悪いっていても、あるラインを超えないと病名が見つからない=
- 115G : はあ。
- 116D : = [ですよ。
- 117G : [はい。
- 118D : ここがこう、なんていうん、この線があってこの線があって、うーん、ここの所は、うーん、何て説明したらいいんですかね。健康とちょっとしんどいっていうのがあるとしたら、健康とかちょっとしんどい、おかしいと思う所を通りすぎて病名が見つく [わけじゃないですか。
- 119G : [はい。
- 120D : 病院だったら、その病名が見つくまでの症状が出てないと病名が見つかない [けど、=
- 121G : [はい。
- 122D : = 病名、健康とか、病名が見つくまでの間はやっぱり病名ついてなくてもしんどいことって、
- 123G : はい、あります。
- 124D : うん。そういうところを西洋医学ではしんどいって言っても、症状が出てない、数値に出てない、=
- 125G : [はい。
- 126D : = [検査しても数値出てなかったら、病名のつけようがないから、治療のしようがない、病名がないと [治療っていう。
- 127G : [はい。
- 128D : 鍼灸っていうのは病名じゃなくて症状で診ていきますので、西洋医学的な病名がついてて、まあ、それも参考にしますけど、
- 129G : はい。
- 130D : その人の体の状態によって臨機応変に対応していけるんで、いうたらまあオーダー

メイド

131G : [ああ、はい。

132D : [その人の体に合ったその日その時だけの治療っていう、そのときに一番合った治療をしていきますのでね、だからその、西洋医学ももちろん大事ですけど、西洋医学ではこう、ちょっと難しい、まあその [心の問題とかあるし、

133G : [はい。

134D : こう、鬱まではいかないけどストレスが溜まってしんどい人とか偏頭痛とかそうなんて言うんですかね、こう病名のつかない症状っていうのを鍼灸、特に経絡治療は得意分野なんで、うーん、そういうなんも、なんていうか、こう西洋医学は西洋医学でいいし、それでちょっと補えん部分も、東洋、経絡治療で補っていくっていうのが、

135G : 得意分野が異なるということですか？

136D : [そうですね。

137G : [はい。

138D : 西洋医学では病名がつかない所もやっていけるという所はありますね。

139G : [はい。

140D : [うーん。

141G : ありがとうございます。ではえっと次にえっと話題をちょっと変えて、

142D : はい。((Dが窓を開ける))

143G : 患者さん、あ、すみません。

144D : いえいえ、

145G : ちょっと緊張してるんで。

146D : あ、あのそんな緊張しなくてもいいので、

147G : [えっと次に話題を変えて、 =

148D : [ふん。

149G : = 患者さんの傾向についてお聞き [したいと思うんですけど、 =

150D : [ふんふんふん。

151G : えっと患者さんの話題を先ほど、えっとおっしゃられたと思うん [ですけど、

152D : [ふんふん。

153G : 初めて会ったときおっしゃったと思うんですけど、プライバシーに関わることとかは、 =

154D : [ああ、はいはい。

155G : = [質問控えていただいても、断っていただいてもいいですし、

156D : はい。

157G : えっともしも、こちらのほうでもやっぱりある程度留意していますので、

158D : あ、[ありがとうございます。

159G : [気軽に答え下さい。えっと、まず、えっと聞きたいんですけど、 =

160D : [はい。
161G : = [患者さんは、えっと、このしのはら診療院
162D : ふん。
163G : の患者さんでどのような症状が一番多いでしょうか。
164D : そうですね、年代ではお年寄りと、や子供さん、赤ちゃん、後あの、若い女性の方
うーんでも、まずはお年寄りの場合は、あの例えば、こう、うーんひざが痛いとか、
まあそういう普通のあるんですね、ひざが痛いとか、腰が痛いとか、それ以外に、
こうお年寄りやったらね、どうしても、こう朝早く目が覚めるとか、
165G : あー、はいはい。
166D : 眠りが浅いとか、
167G : はいはい。
168D : えっと、後、口がよう渴くとかね。
169G : はいはいはい。
170D : あのそういう、まあ口が、まあよう乾くってドライマウスって行って、病院でお薬
も出るんですけどね、そういう老人特有な症状、関係が無いようで全部関係がある
んですよ。
171G : はいはい。
172D : で、それ、そういう、うん、病名、病名で言ったらいいんですかね、あー何で
173G : うーん、まあ言えるんだったら病名でもいいですし、=
174D : [そうですね。
175G : = [答えやすい形でいいです。
176D : うんうん。だから、そういう、だから老人特有のそういう症状が一番[多いですね。
177G : [あー。
178D : お年よりは、で女の人だとあの、更年期だとかね。
179G : あー。
180D : うん。どうしてもめまいとかあの、耳鳴り、後こう、血圧が高くなって、であの冷
えるとか、後こうのぼせてしまう、のぼせたり、寒くなったり、のぼせたり、寒く
なったり、そういうのもね全部原因は同じ所なんで、
181G : あー。
182D : うん。そういうのも多いですね、えっと若い女の人やと、やっぱストレス。
183G : [はー。
184D : [うん。後、あの目の使い、パソコンなんかで、
185G : はい。
186D : 目の使いすぎとか、目の疲れ、ストレス、偏頭痛、そういうのも全部根っこは同じ
[なんですよ。
187G : [あ、そうなんですか。

188D : 今言ったんもね、老人の症状も根っこが一緒やし、更年期のあの、女の人のちょっと年配のかたの症状も根っこは [全部一個なんですよ。

189G : [はい。

190D : だから、うーん、耳鳴りがしんどいって、言って来はっても、治療したら、眩暈とかも一緒に治ってきましたし。

191G : うん。

192D : ストレス、ストレスなんかも多いですね。えと、あの鬱だとかね、そういうのも、後子どもさんですと、癩虫てね、こういらいらしてね、きいきいしたり、嘔み付いたり。

193G : あー。

194D : うん。癩虫とか夜鳴き、アトピー、喘息、なんかも。うんうんうん。

195G : ありがとうございます。

196D : うん。

197G : では、えっと症状をいろいろな症状が [あったと思うんですけど、 =

198D : [うんうんうん。

199G : =今までこの自分たちが =

200D : [うん。

201G : = [えっとなんていったらいいんだろ、治療してきた中で一番これはうまくいったとか思うケースとかっては [ありますか。

202D : [あー。

203G : 一番印象に残っている。

204D : そうですね。だいたいね、うまくいったというか、こうね、ずーっと続けてるとね、こう玉ねぎの薄皮をはぐようにね、症状がだんだんよくなっていくんですよ、悪くなるっていうことはまずないですね。そのどれぐらいよくなっていくかっていうのは、やっぱその期間が どれくらいかかるかとかは [個人差がありますからね。

205G : [ああ、はい。

206D : あのこういうの鍼灸 (はりきゅう) ならではで良かったなと思うんは、あの末期がんの患者さんとかの、もう末期で、自宅で呼吸をされる [患者さんも多い、 =

207G : [あー。

208D : =でも抗がん剤とかで痛みが、でもお薬は家族がやっぱり飲んで欲しい、

209G : [はい。

210D : [薬は飲まなあかんけど、痛みもきつい =

211G : [はい。

212D : = [っていうかた、そういうときにね、疼痛感を、痛みを、こう、がんをどうこうって言うんじゃないくて、そのがんの痛みを取り除くっていうことが鍼では [できるときによります。

213G : [はあ。

214D : だから、鍼でよかったと思うことですかね。やっぱり、もう安らかに

[後がね、こう、うん、

215G : [あー。

216D : その、西洋医学でもどうしようもないじゃないですかね。そういうふうに痛みをやっぱ和らげてあげて、最後に、こう安らかな気持ちでね。

217G : [そうですね。

218D : [うん。後は、子供さん、子供さんのね、あの、小児鍼っていう、子供に鍼するんがあると思うんですけど、子供さんが、あの、鍼をね、いろんな種類によって尖ってない鍼もあるんですよ。で、そういうのも、すごい、今徳島が発祥の地で＝

219G : [あ。

220D : = [全国に広がってってる、ホームページまた、スキンタッチっていうところジャンプしてもらったらいけると思うんですけど、それのここ6年ぐらい、しのはら先生と、あ、私は弟子なんですけどね

221G : はい。

222D : すいません、紹介するのが遅くて。篠原先生とあとお二人の3人がね、発端になってスキンタッチっていうのを始めたんです。でそれは、あの鍼の代わりにね、おうちにあるスプーンとか歯ブラシ、後ドライヤー、お灸の代わりにドライヤー使ってね、子供さんにし、お母さんに覚えてもらって、子供さんにしてもらおう。

223G : はあ。

224D : やつなんですけどね、それをちょっとずつこう普及して行って、それが最近全国にもものすごく広がってきてて、東京なんか徳島より活発なぐらいなんですけど。で、直接しよるんとはまた別ですけど、それもやっぱやってよかったなあと、あのやっぱりおうちでね、お母さんがしてあげるんが子供さんには一番 [やっぱりね。

225G : [そうですね。

226D : お母さんの手がね。それもっと広がっていったらいいなと、今子供さんに関わる事件とかも多いですね。

227G : そうですね。

228D : で、おじいちゃん、おばあちゃんが一緒に住んでたら、おじいちゃん、おばあちゃんもおるけど、おじいちゃん、おばあちゃんもおらんしね、で、お母さんと子供と一対一の昼間ね、家庭も多いですからね、だからやっぱり、子供さんのこれからの子供さんのやっぱ、人と関わる機会が昔より [少ないですからね。

229G : [はいはいはい。

230D : だから、そうやってお母さんが [手かけてあげることね。うん。

231G : [そうですね。スキンシップは大事ですよ。

[ありがとうございます。

232D : [そういうのも大事。
233G : ありがとうございます。
234D : はい。
235G : じゃあ、えっと、逆に [ちょっと、
236D : [うん。
237G : ちょっとうまく [いかなかったなあとかいうケースはあるでしょうか。
238D : [うんうんうん。ほうですねえ。うまくいかなかった。うーん。う
まういかなかったねえ。うまくいかなかった。悪化したっていうことですか？
239G : えっ？
240D : 悪化したっていう。
241G : そういう場合じゃなくても、
242D : うん。
243G : えっと、たとえば、うまく患者さんの反応が得られなかったとか。
244D : あー、あのね、こう、患者さん、うまく、あの、患者さん、その方は、あの、ひざ
が痛くて来院された方がいるんですけどね、ひざがね、もう変形してしまっていて、
で変形する前でしたらね、ずっと続けていったら、その、変形しようとするのが
止まるんですけどね。変形してしまったものを元に戻すっていうのは鍼でもでき
ないのでね、ただ、変形してしまっている、その変形した骨のくっついている
筋肉にも負担がかかっているわけですからね。
245G : はい。
246D : その筋肉を鍼でほぐしてあげることによって痛みは、
247G : [あー。
248D : [あの抑えることはできるんですけどね。あの、その、なんて言うんですかね、お
ひざが痛いからね、どうしても通院してくるのが [しんどい、=
249G : [あー、そうですね。
250D : =んで、でも変形までしてたら定期的に続けないと効果が出ないですけど、
やっぱり通院が、
251G : あー。
252D : しんどくて、でこう、続けられない、
253G : あー。
254D : あの、途中でね、通院がしんどい、(電話のベル) ちょっとすいません。ちょっと
すいません。
255D : おばあちゃんがね [一人暮らしでね、ずっと来られてたんですけど、
256G : [はい。
257D : 途中でもう来られなくなって、[で足痛くて、よういかん、

258G : [はあ。

259D : そのときはもうしょうがないなと思って、それ以上しなかったんです [けど、 =

260G : [うん。

261D : =ずっと心にこうひっかかっているんはね、ほっとたら今より良くなることはない
んでね

262G : そうですね。

263D : そのときにそうですかって言わんとね、もうちょっとこう介護タクシーとかね、往
診のこう書類を揃えるとかね、もう一步踏み込んでね、なんかできたんちゃうかな
って、すごい今でも心に引っかかっていますね、そのときはやっぱ患者さんが無理
って言ってるのにこっちから踏み込んでいってていうのは、
やっぱ [できないですよ、 =

264G : [そうですね。

265D : =やっぱ踏み込んだらいかんと思って、ああそうですかって終わらせたんですけど
ね、もうちょっとなんかできることあったんちゃうかなと思って、もう今はその方
一人では住め、一人暮らしでね、 =

266G : [はい。

267D : = [あの、出来なくてね、施設は入られたんです [けどね。

268G : [あー、そうですか。

269D : うーん、あのときに、あんまり踏み込みすぎるんも良くないんですけど、もう
ちょっと、もう一步踏み込んでね、なんかしてね、往診やったら往診でもいったら
よかったなと、今でも凄いい心にね、今度同じことがあったらもう一步踏み込んで
みようってね思うんです [けどね。

270G : [そうですね、やっぱり患者さんとの関わり合いとかは、

271D : そう、距離がやっぱり [難しいですね。

272G : [そうですね。

273D : あんまり踏み込んだらいかん言うんやけど、もうちょっとできたらちゃうかなあと。

274G : ありがとうございます。

275D : いえいえ。

276G : では、えっと自分が最初に治療したケースとかって覚えていらっしゃいますか？

277D : うん。あの、今もね、来られてる患者さん [なんですけど。

278G : [あ、そうですか。

279D : うんうん。それはどういうふうなことを。

280G : えっと。

281D : 病名じゃなくて

282G : そう、どういう治療をしているかとか。

283D : あの例えばね、その方は最初こられた時はおひざが痛いつてこられたんですけど、

途中から手が痺れるっていう、でちょっと鬱傾向っていらっしやって、で近くにいたお友達がね、あの一人暮らしが、もう高齢でもう息子さんのところ行くってことで引っ越されて、もう近くにお友達その方しかいなかったんでね、もうお友達いなくなって、一人で一日おる、ねえ、もうちょっと塞ぎこみがちになってね、外にも出ない、おひざが痛いから、[歩くんもしんどい、=

284G : [はいはいはい。

285D : =で鬱々してるうちにね、ストレスとかでもね、肩とか体ってストレスで体がキューツとなると、体がこわばって、[硬くなってくるんですね。

286G : [はいはいはい。

287D : ほんで肩も何もして無いのに、肩こって肩こって、手がしびれて、

288G : はい。

289D : ていうふうになってきて、しょそはお膝でこられたんですけどストレスのほうが大きい、

290G : あー。

291D : んで、おひざの治療もしながら、その、お話ですね、() 色々お話も聴いたりしてね、であと肩の治療もして、だんだんこう手がにぎれなかったのが、あの、だんだん握れるよう、動きが良くなってきてね、でおひざもまあ手押し車押ししながら、まあぼちぼち歩いて来てくれるようになって、まあ一番変わったんは、やっぱりその塞ぎがちやったんがね、ちょっとこうお庭の手入れをしたりとか、するようになってきてね、うんうんうん。その方は最初。

292G : はあ、素晴らしいですね。

293D : うーん。いやそれはね、やっぱあれなんですよ。バランスが整って [くるから。

294G : [はあ。

295D : うん。

296G : でもやっぱり、[その患者さんとの=

297D : [うん。

298G : =コミュニケーションもしたからですよ。

299D : [大事ですね、

300G : [はい。

301D : 病気を、病気だけを診るんじゃなくて、肩こりが治ればいいっていうもんじゃなくて、病気を診るんじゃなくて、人間を [診るっていう。

302G : [そうですね。

303D : だから、なんて言うんかな、心と体はこう表裏 [一体だからですね。

304G : [はい。

305D : うん。

306G : その患者さんとの会話とかは何気ない日常的なこととか。

307D : うん。あの患者さん、あんまりね、あの関係ない、[昨日のテレビがとか、 =
308G : [はい。
309D : =そういう話はしないんですけど、
310G : はい。
311D : その患者さんの体について欲しい情報が、やっぱ治療やから、
312G : はい。
313D : 欲しい情報を引き出すような会話をする。
314G : はあー。
315D : あと、こう、ちょっとこの人、ちょっとこう食生活とかにね、ちょっと気をつけた
ほうがいいな、改善したほうがいいなっていうことをさりげなく、その会話の中に
混ぜていったり [とかね、 =
316G : [はあー。
317D : =直接こう注意する、こうしたほうがいいですよって言うよりも、あ、患者さんが、
あ、こうしてたほうが体にいいんやなって気がついたほうが、 =
318G : [はあー。
319D : = [自分で気がついて変えるほうが、人に注意されてからするよりもね、自分で気
がついて変えていったほうが長続き [する。
320G : [そうですね。なんか対等な関係ですかね。
321D : そうですね。[気付いてもらう。うん。
322G : [患者さんとお医者さんとが。
323D : 先生の [受け売りなんですけどね。全部
324G : [heh heh heh、ありがとうございます。
325D : はい。
326G : えっと、次に、えっと、一日にどれくらいの人数が [来られますか。
327D : [そうですね、季節によっても
違うんですけど、
328G : あ、そうなんですか、
329D : はい。大体 10 人から 20 人ぐらいですね。うん。
330G : その季節っていうのは、やっぱりどんな時期？
331D : あのね、やっぱりこう、例えばぎっくり腰とか腰痛になりやすい時期とか、
332G : あ、あるんですか。
333D : あります。
334G : 季節があるんですか。
335D : あります、春先。それも東洋医学的に言ったらあるんですけど、長くなるんで、
春先はこう筋肉を痛めやすいとか、そういうのあるんですよ。うん。あと、精神的
なんでいったら五月病っていう [ぐらいねえ、 =

- 336G : [あーあーあー。
- 337D : =みなさんやっぱり疲れがでてきたり、いろいろ、うん。
- 338G : ありがとうございます。では、えっと先ほど、その末期がんの [患者さんの=
- 339D : [うんうんうん。
- 340G : =ケースについてお話いただいたと思うんですけど、
- 341D : はい。
- 342G : やっぱりそういう風に病院で治療を受けてから来院するっていう人は多いんじゃないかな。
- 343D : そうですねえ。あの、うちはね、あの、まずはちゃんと病院で診てもらって、であの原因とかははっきり解ってね、そのうえで治療したほうが [いいと思ってるんでね。
- 344G : [あ、そうですか。
- 345D : なんか解らんけど痛いから来たっていうんじゃないで、そうじゃなくて病院でしっかり診てもらって、病名がついたんやったら、その病名の治療もするし、その病名がついていない部分で [からしんどい所も治療しますしね。
- 346G : [はあ。
- 347D : だから、来院された時も行こうか迷ってられる方には、一度ちゃんと行って、お医者さんに太鼓判押してもらってから、ねえ、あのもういっぺんしましょうねっていうふうにしてるんです。
- 348G : はあ。
- 349D : ふん。
- 350G : ありがとうございます。
- 351D : 診断はね、できないんです。鍼灸師はお医者さんと [違うんで。
- 352G : [あ、そうですか。
- 353D : 病名をつけたり、
- 354G : あ、そうですね。
- 355D : そうそう、診断とかはできない。
- 356G : そうですね、[全体的な感じ。
- 357D : [そうそう。
- 358G : ありがとうございます。
- 359D : はい。
- 360G : では、えっと、施術 (舌をかむ)、[施術について、
- 361D : [huh huh huh
- 362K : えっと西洋医学だからじゃなくって、たぶん医師法との関係だと思います。
- 363D : うんうんうん。
- 364K : あの、診断ができないのは、看護師さんの診断が [できない。

- 365D : [そうですね。]
- 366K : する権利がない。
- 367D : そうです。
- 368K : あ、法律で。
- 369G : はい、[わかります。]
- 370K : [東洋医学、西洋医学とかっていうんじゃないで。
- 371G : はい。
(聞き取り不能)
- 372G : ありがとうございます。
- 373D : いえいえ。
- 374G : えっと、えっと例えばえっと次に施術、施術以外で、
- 375D : ふん。
- 376G : 患者さんとのコミュニケーションもありますというか、ちょっとわかりにくいんですけど、例えば来なくなった患者さんに手紙の郵送とかしたり、電話をかけたり、そういうことは、
- 377D : しません。
- 378G : やっぱり、その関係とかがある [からでしょうか？]
- 379D : [うーん。例えば歯医者さんにずっと通われてて、
で行かなくなって電話かかってきても、困りますよね。]
- 380G : 困ります。
- 381D : だから、患者さんがこっち行こうと思った所から治療が始まってると思うんです。
このままじゃいかんから、ちゃんと行って歯医者さん、虫歯痛いけど我慢して行かん、もう行こうって思って電話、予約の電話するところから、あ、自分の心の中でこれを治そうって気持ちが始まってる、そこが治療の第一歩だと思うんで、うちは年末年始のこうお休みとかね、そういうハガキは、あの患者さんに[送りますけど、
- 382G : [はあ。はい。]
- 383D : お体いかがですかとか、そういうのは一切しない。
- 384G : はい。ありがとうございます。
- 385D : はい。
- 386G : えっと、じゃあ、えっと次に施術、施術するにあたって、
- 387D : はい。
- 388G : 心がけていることとかありますか。
- 389D : うーん。やっぱり、うちは症状を少しでも楽にするのが、しないといけないんですけど、それだけに囚われない、病を診ずに人を診る、
- 390G : はい。
- 391D : 病も診るだけを診るんじゃないで、病を抱えている一人の人間であって、その

病気だけにキューと治そう、治そうと思って、ちょっとでも楽になったらと思って病気だけを診てると駄目なんちゃうかなと思いますね。病気を、そういう病気があって一人の人間だから、病気も診るんだけど、病気だけを診ずにその人っていう、その人っていう人を診るっていうことですかね。

392G : ありがとうございます。

393D : うん。

394G : で、えっと次に、えっと女性にもマッサージを施しているというのをホームページでお伺いしたんですけど、その女性ならではの気遣いとか、心配りとかされていますでしょうか。

395D : うーん。そうですね。女性にするマッサージっていうのは、あのにゅうもマッサージです。お乳のね。それは女同士でね、お家に行ってすることのほうが多いので、それも普通にしてるんですけど、治療院ではやっぱり、こう男の先生なんでね、女同士のほうが言いやすそうなことは、最初にこう患者さん入られて、あの、鍼の準備したり、こういろいろするんですけどね、そのときにこう女同士のほうが聴きやすいかなっていうことは、お灸は生理の時はちょっとできないんですね、そういうときには生理中なんですとかかそういうのを聞いたりとか、あとまあ、そんな対して、あの、女の人って汗のにおいが気になる、

396G : あー。

397D : でもお仕事帰りとかだったら、こうシャワーも浴びずにねえ、きはるから、そういうのを気にする方とかねえ。何人かいらっしゃるんです。そういう方には、ちょっとハーブの、ハーブの、こうお水のねえコットン [とかねえ=

398G : [はあ。

399D : =ちょっと拭けるのを渡したりだとか、あと昔の女の人やったらここのほう、結構男の方にしてもらうん恥ずかしい、[そういう方はちょっとこう、

400G : [はあ。

401D : (聞き取り不可能) でもそれはあんまり、女やからっていうんでなくて、嫌なんやったらまあ、ちょっとしとこうかなっていうぐらいで、治療がね病院でも看護婦さんがこんな別に嫌ですって言ってしたりしない、それと一緒に、あんまりそれがそのせいで治療いくん嫌やったら、ねえ、

402G : うん。

403D : 患者さんの心の負担になって、ちょこちょこっていうことはしますけど、特にその、女やからこれしてますっていうのはしてないですね。篠原さんのほうが凄いい細やかな [気遣いがあれなんで、

404G : [huh huh huh。

405D : 見てて、あ、そうかって出遅れることが多い。

406G : あー。

407D : うん。

408G : ありがとう [ございます。

409D : [いえ。

410G : 次に、話題を変えて、[あの鍼灸師のえっと、＝

411D : [はい。

412G : ＝おおさかさんですよ。

413D : おおさき。

414G : あ、すみません。

415D : 大にね、長崎の崎。

416G : あ、長崎の崎。

417D : [で、

418G : [あ、すみません。

419D : 下の名前が横一の一に、

420G : はい。

421D : 葉っぱの葉です。一葉。

422G : 一葉。

423D : はい。

424G : ありがとうございます。[大崎さんですね。

425D : [はい、そうです。

426G : [で、大崎さんの

427D : [はい。

428G : 経歴に [ついてお聞きしたいんですけど、＝

429D : [はい。

430G : ＝まず鍼灸師になられた動機について教えてください。

431D : はあー、鍼灸師になってまだそんなに、まだ今 2 年目 [なんですけど、

432G : [あ、そうなんですか。

433D : 学校卒業した後に、あの普通に就職して働いてたんですよ。

434G : はい。

435D : で、6 年間働いてて、そのとき全然鍼灸とかもう興味なくて、ほんであの種、種屋さんで働いてたんです。

436G : はい。

437D : あの、農協に種を [卸したりとかね、

438G : [はー。

439D : あとビニールハウス建てたりとかそういう会社で勤めてて、であの、そこにね来る人があの農家の人相手なんで、＝

- 440G : [はい。
- 441D : = [やっぱ農家の人っておじいちゃんおばあちゃんが [多い、
- 442G : [そうですね。
- 443D : あの毎日ね、畑行ってね、肉体労働してるんで、腰が痛かったり、膝が痛かったり、
なんせもう体が悪い、[であちこち痛い、痛んでる人が多かったんです。
- 444G : [はい。
- 445D : ほんで、でもみんな農業が好きやから、痛い痛い言いながらも生き生き元気に
まあ、店にも来てくれて [たんですけど、 =
- 446G : [はい。
- 447D : =あるときそのひとりお客さんがあの、あの入院されてね、であの、退院して車
椅子に載せてもらってお孫さんと一緒に来てくださったんですけどね、まあもう日
があるから畑とか行けない体になってしまって、
- 448G : はあ。
- 449D : そしたら今まで生き生きしてたのが顔つきも全然違うしね、元気もないしね、もう
別人みたいになってて、でそれ見てて、あんだけ生きがい持って生き生き元気に
しとった人があんなに変わるんじゃないかってね。やっぱり今、寿命が皆、日本ね
[延びてるけど、 =
- 450G : [はい。
- 451D : =ただ、やっぱただ生きるだけじゃいかんなど。
- 452G : [生きがいが。
- 453D : [やっぱ元気にね。うん。元気に生きがい持って生きてこそ、
- 454G : はい。
- 455D : なんぼやなと思って、それが最初に興味がわいたきっかけで、そのうちだんだん
そういう思いが強くなってきて、他の人でもそういう人とか出てきて、ほんで色々
学校調べて最初マッサージ、マッサージの免許取ろうと思って、で鍼灸マッサージ
科の学校受けたんですよ、
- 456G : はい。
- 457D : ほんでマッサージの免許取ろうと思って入ったんですけど、さっき言ったその
スキンタッチっていう、
- 458G : はい。
- 459D : のが徳島発祥の地で5月におぎゃつと21って言うのがあるんですけどね、そこで
スキンタッチのボランティアを募集してて、学生の時にほれちょっと行ってみよう
と 思って、行ったのが篠原先生と出会ったきっかけなんですよ。
- 460G : あ、そうなん [ですか。
- 461D : [うん。でそのときはね、まだ鍼するつもりなくて、学生するとき

剣道してて、あの電気の鍼をね、してもらって、それがきつすぎてね、あとでしんどくなってね、＝

462G： [はあ。

463D：＝ [それから鍼が嫌いになったんです [けど、

464G： [はあ。

465D：その鍼、そうこうしてる内に、自分の今度ばあちゃんがガンになって、ほんであのマッサージじゃどうしようもない、篠原先生に相談したらね、して、ほんでマッサージよりも鍼のほうが、こうカバーしていけるものが、面が多たって言って、ほんで鍼いこうって思って、でまあ一応学科は鍼もマッサージも取れる学科だったんで、でまあマッサージじゃなくて鍼いこうと思って、で卒業してここに弟子入りさせてもらったんですけど。

466G：ありがとう [ございます。

467D： [ま、こんな感じです。

468G：ありがとうござい [ます。

469D： [はい。

470G：じゃあ、えっとその鍼灸師の資格を学校で取ったとおっしゃられてましたけれども、えっと、どこの学校とか教えてもらえますか。

471D：あの、あのね、四国はね1つしかなくて、あの高松じゃないわ、宇多津町っていう、[香川県。

472G： [はい。

473D：四国医療専門学校っていうところ。

474G：はい、[ありがとうございます。

475D： [うん。

476G：そこで、やっぱり学校内でも、そのお師匠さんと弟子っていうか、まあ、教授と[学生っていうか、

477D： [は一。

478G：そういう関係あるんと思うんですけど、そういう関係ありますか。

479D：学校はね、うーん、その学校によってもね、特色が色々あって、大阪のほうの学校やったら経絡治療に力入れてる学校とか、スポーツ鍼灸に力入れてる学校とかあるんですけど、四国医療はそんなに特色が無いんが [特色って言いきってるぐらい＝

480G： [はは。

481D：＝の学校でね。特になくて、師匠弟子っていうのはね、なかったですけど、自分がその先生が好きって思ったら、個人的に教えてもらうっていうのはあるんですよ。

482G：はあ。

483D：うん。ほんで、私もそのマッサージの先輩、先輩っていうか先生について教えてもらう会を先輩が作ったのがあってね、そこでマッサージの修行、練習はしてたん

ですけどね、あんまり学校の中ではないですね。学校でてから、っていうか学校在学中に学校の中だけにおらんと、あちこち勉強会行ったり、ボランティア行ったりして、そこでの出会いでこう、学生やったら、こう丸の真ん中にいて 360 度可能性のあるわけじゃないですか。＝

484G : [はあ。

485D : = [西へ行くか、東へ行くか、

486G : はい。

487D : スポーツ行くか、経路行くか。

488G : はい。

489D : そのうちの 360 度のうちの 1 か 2 の先生に学校は出会えるところで、

490G : [はい。

491D : [あと 360 度どっちに行くかっていうのは、学校出て、そのときの勉強会とか出た所で出会える人のほうが多いです。

492G : はあ。[ありがとうございます。

493D : [うん。

494G : はい。えっと、じゃあ、[次の質問いきます。

495D : [はい。

496G : ではえっと鍼灸師になって、

497D : [はい。

498G : [どこにやりがいを感じますか。

499D : どこにやりがい。やっぱりなつたきっかけが、その、ただ長生きするだけじゃなくてこう生きがいを持ってねえ、生き生き長生きできるようね、体が資本やけん、体はね、しっかりして生きがい持って生き生きこう、最後まで生きて欲しいっていうのがきっかけで入ったから、やっぱりこうお年寄りっていうんはこう孤独、うん、一人暮らしのお年寄りも [多いですし。

500G : [そうですね。

501D : 一番世の中で生きてるのに、死に近い所にいるのはお年寄りやのに、一番孤独なんもお年寄りちゃうんかなと思うんですよね。いや、個人的 [にね。＝

502G : [はい。

503D : =自分のばあちゃんがひとり暮らしっていうのもあるんですけど。だから、その一番死に近くて色々考えることもあるのに、一人ぼっちで、なんて言うのかな、こう重い、重さとは違うんですよね、人生経験とかあるからやろうけど、だからその、起きてからね孤独、孤独なんは

(電話)

504D : すい [ません。

505G : [はい。

506D : だから、その、なんていうんですかね。なんの質問でしたっけ。

507G : やりがい [ですね。

508D : [やりがい。すみません。だからそういう人は、心と体はそのだから表裏
一体やから、体が元気になったら、心もちょっと出かけようかとか、

509G : うんうんうん。

510D : ちょっとなんていうん、老人のお食事会に [行こうかとかいう風に、

511G : [うんうんうん。

512D : 体が元気になったら心が元気になるし、心が元気になったら [体が元気になる。

513G : [はあ。

514D : だからその、鍼灸し、その体の治療したら心も元気になる。そういう元気、生き
生きしはるの見たらあーよかったと思う。来てくれなかったら治療できないけど、
あー来てくれて良かったと思いますね。うん。

515G : ありがとうございます。えっと、

516D : はあ。

517G : じゃあ、えっと逆に。

518D : あ、あとね、子供、不妊治療で、

519G : はい。

520D : 子供ができないって来てた人に赤ちゃん [授かったときは嬉しかったですね。

521G : [はあ。素晴らしいですね。ありがとう
[ございます。

522D : [あー。うん。

523G : えっと、じゃあ、逆にえっと鍼灸師になってちょっと悪い、悪かったっていったら
[アレなんで=

524D : [うん。

525G : =辛かったこととかはありますか。

526D : 現実とのギャップってことですか。なんか、こんなはずじゃなかったとか。

527G : ああ、それでも。

528D : どうなんですかね、まだねえ、思うまでの経験してないんでねえ。
今は無い [ですね。

529G : [ないですか。

530D : うん。こんなはずでは、だからその、さっきの人のもうちょっとなんかできたん
ちゃうかなって思ったときのあれはありますね、その、なんかこう、入り込んで
行けないラインっていうのがあるから、自分のおじいちゃん、おばあちゃん、
[家族じゃないから、家族だったら言いますけど、

531G : [うんうんうん。

532D : だからそういうのは、そういう所がちょっとギャップっていうか、まあしょうが

- ないんやけど、[割りきらないかんところですよ。
- 533G : [はい。ありがとうございます。じゃあ、えっと、似た質問でもし無ければよろし、いいんですけど苦労したとことか [苦労されて＝
- 534D : [はい。
- 535G : =いるところとかありますか。
- 536D : 苦労。勉強ですかね。あの経絡治療ってね、古典の勉強なんで、
- 537G : はい。
- 538D : あの、昔のね、そのショウカン論とかそのレイスウとか古典をやるんですよ。
- 539G : はい。
- 540D : どうなんかな、ちょっと待ってください。(本を取りにいく) 中国の古典なんですけど、それが元になって経絡治療になってるんですけど、あの昔のこういうのがね、すらすら読めなあかんのですよ。
- 541G : はあ。ありがとうございます。
- 542D : こういう。
- 543G : すいません。
- 544K : 漢文ですね。
- 545D : 漢文なんです。今の現代文の経絡治療の教科書っていうのも出てるんですけど、それじゃなくて、自分でこれを読んで、で解釈して、それを実際の治療に活かしていかなあかんで、とにかく弟子入りした最初にこの本をもっと一杯何冊も種類があって、で最低限こんだけ絶対せなあかんでいうのもあって、でそれをひたすら写すんですよ。で、移したら、今度読み仮名とか返り点とか自分で打って、んでそれを訳して、んでそれを章別とか色んな分類の仕方で分類して覚えていかなあかんのです。で、読めんことには覚え、なんもできんので、とにかく最初はわからんけど全部丸写しして、返り点つけてっていう作業を。こう永遠するんですよ。それを治療が [終わって、＝
- 546G : [huh。
- 547D : =帰ってから毎日やっても、[なかなかもう、＝
- 548G : [あー。
- 549D : =量が膨大なんで、いかん、それを毎日、写経って自分では呼んでるんですけど、うーん、それがちょっとしんどいですね。
- 550G : 勉強は常にもう続いているって [いう。
- 551D : [一生ですね。やっぱり。これがもとになっての経絡治療なんで。
- 552G : ありがとうございます [ます。
- 553D : [漢文これ勉強、今までそんなん、読む機会なんか、学校でちょろっと習うぐらい。

554G : ないですよ。

555D : ほんましんどい。

556G : [huh huh。

557D : [huh huh。

558G : ありがとうございます。では、えっと今までよく似た回答をもらえたと思うんですけど、まとめて鍼灸師にとって大事なことは何だと思えますか。

559D : やっぱ、さっきとっしょ、重複しますけど、

560G : はい。

561D : 病気を診てるんじゃなくて、病気とかそういうのを持った一人の人と向き合ってるってことですかね。

562G : はい。ありがとうございます。

563D : 心と体は＝

564G : [はい。

565D : ＝ [表裏一体って [いうことですかね。

566G : [はい。 [ありがとうございます。

567D : [うん。

568G : ではちょっと最後に [テーマを変えて、

569D : [はい。

570G : 現状、鍼灸についての現状と＝

571D : [うん。

572G : ＝ [未来について、 [ちょっとお聞きしたいと思います。

573D : [うんうんうん。

574G : で、鍼灸をえっと今以上にもっと普及させるべきだとは思えますか。

575D : うーん、あの鍼灸っていうのはぶすぶす刺す＝

576G : [はい。

577D : ＝ [嫌なイメージがあるんですけど、流派によってはそういうやり方もあるんですけどね、こういうそのあの、赤ちゃんにもできるようなね、ほとんど刺す、浅く刺す、その痛くないようなやり方もあるんで、あのそういうのを知ってもらったらね、あのもうちょっとこう、フティシュウソとかね＝

578G : [はい。

579D : ＝ [得意分野なんでいいんちゃうかなと思えますけどね。うん。だから、そういうのをみんな知ってもらえたらいいなと思う。だからスキンタッチも、＝

580G : [あー。

581D : ＝ [おうちでそうやって、小児鍼。

582G : [あー。

583D : [スキンタッチやってもらって、それをきっかけに小児鍼、普通の鍼っていう

ふうに、こう道ができていったらね、いいと思う。特にお年寄り、とあとストレス、

584G：はい。

585D：みんなありますけど、＝

586G： [はい。

587D：＝ [の人とかはねえ、知って欲しいですね。

588G：ありがとうございます [ます。

589D： [はい。

590G：次に、鍼灸師の育成はどうしていけばいいと思いますか。

591D：うーん。今あの鍼灸の学校ってね、

592G：はい。

593D：法律がなんか変わって全国にぼんぼん建ってっているんですけど、あの、なんて
言いますかね、鍼灸師も免許取った所で全てスタートラインに並んだことに
[なるんですけど、

594G：[はいはいはい。

595D：うーん。なんて言うんか、せっかく鍼灸するんだったら、その、西洋医学的なこと
はお医者さんがおってなんやからね、そこでこう、またカバーできんっていうか、
そこでまた違ったジャンルでねえ、病名がつかないけど、しんどい所っていう所、
そういうんを埋める経絡治療、

596S：大崎さん、

597D：はい。

598S：お顔 [ちょっとやっつけて。

599D： [あ、はい。

600S：ふん。

601D：っていうような道に進む鍼灸師が増えたら [いいなと思いますね。

602G： [はい。

603D：すいません。

604G：はい。

605S：もうちょっとやけんね。

606K：いえ。
(聞き取り不可能)

607G：じゃあ、えっと、現状と未来についてお聞きしていたと思うんですけど、

608D：はい。

609G：鍼灸と西洋医学はどのようになっていくのが理想ですか、今後。

610D：うーん。あの、なんていうか、鍼灸と西洋医学もそうですし、鍼灸の色々な流派も
そうですけど、こう、お互いこう、やっぱり自分の信じる所があって、その道に
入って、こう腕を磨いてね、日々頑張っていると思うんですけど、それはどの道の

人も一緒ですからね。西洋医学、東洋医学もやってることは違いますけど、目的は一つですからね。患者さん。だから、ちょっとこう、垣根がね、まあ、お互い批判しあうんじゃないくて、もっとうん認め合うっていうか、こう、寄り添いあうっていうか、同じ目的で、一つの目的でやってる、だからそのもうちょっと一人一人がどのジャンルに関わらず、こう、うん、認め合うっていうか、寄り添いあうっていうか、患者さんの事思うんやったら、たぶん、うん、なんて言ったらいいんですかね。

611G : 共存 [するっていうか。

612D : [そうですね、共存っていうよりかは、うーん。

613G : 関与しながら、

614D : ううん、もっとだからもっと、そういうためには鍼灸が
[もっと知られていなくちゃいけない。

615G : [あー。

616D : (お客さんが来る)こんにちは。ちょっとすみません。

617G : はい。

徳島大学総合科学部社会学研究室報告 既刊（国立国会図書館等所蔵）

- | | | |
|----|---|------------|
| 1 | エスノメソドロジーとその周辺
ー平成9年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 1998年3月発行 |
| 2 | ラジオスタジオの相互行為分析
ー平成9年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版)ー | 1998年10月発行 |
| 3 | エスノメソドロジーと福祉・医療・性
ー平成10年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 1999年2月発行 |
| 4 | 障害者スポーツにおける相互行為分析
ー平成11年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版)ー | 2000年2月発行 |
| 5 | 日常生活の諸相
ー平成11年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2000年2月発行 |
| 6 | 現代社会の探究
ー平成12年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2001年2月発行 |
| 7 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー
平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版) | 2003年2月発行 |
| 8 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー
平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版) | 2003年9月発行 |
| 9 | 社会学の窓ードラマティックな日常生活ー
ー平成15年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2004年2月発行 |
| 10 | 義肢・装具のエスノメソドロジー
ー平成16年度徳島大学総合科学部地域調査実習報告書ー | 2005年2月発行 |
| 11 | 生活の中の相互行為
ー平成17年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー | 2006年2月発行 |

鍼灸のエスノメソドロジー

(平成18年度 地域調査実習報告書&大学院人間・自然環境研究科地域社会論Ⅲ・社会組織論レポート集)

発行日 2007年2月21日

編集 榎田美雄

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

(088) 656-9308

E-mail:kashida@ias.tokushima-u.ac.jp

<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/index.html>

発行 徳島大学総合科学部社会学研究室
